



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場取引所 東 名

上場会社名 新東工業株式会社

コード番号 6339 URL <http://www.sinto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 永井 淳

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート部長

(氏名) 春田 則之

TEL 052-582-9211

四半期報告書提出予定日 平成27年11月16日

配当支払開始予定日

平成27年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	46,223	9.3	2,037	80.5	1,752	13.2	1,028	14.2
27年3月期第2四半期	42,273	3.4	1,128	△9.8	1,547	△31.1	900	△33.9

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △1,231百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 1,285百万円 (△78.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	19.13	—
27年3月期第2四半期	16.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	140,989	92,358	62.3	1,649.16
27年3月期	146,315	95,278	62.0	1,672.19

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 87,808百万円 27年3月期 90,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
28年3月期	—	8.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	1.9	4,000	18.4	4,700	6.5	2,700	2.4	50.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	54,580,928 株	27年3月期	56,554,009 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	1,336,805 株	27年3月期	2,265,068 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	53,783,737 株	27年3月期2Q	54,290,370 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、現時点の入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の概況等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の経済状況は、海外では、北米が雇用や消費の改善傾向を維持いたしましたが、欧州では経済停滞が継続し、中国や南米では成長鈍化が鮮明となりました。国内は、個人消費や設備投資に改善の兆しが見えるとともに、輸出関連企業の業績改善が進みました。

当社グループの事業環境につきましては、海外では、欧州市場や中国市場で自動車関連の設備投資需要が減速傾向となりましたが、国内では、投資補助金による表面処理装置や鋳造設備の更新需要に加え、設備稼働率の向上に伴う投射材やメンテナンス部品などのアフターマーケット需要が底堅く推移しました。

こうした情勢を踏まえて、当第2四半期連結累計期間の受注高は48,600百万円（前年同四半期比9.7%増）、売上高は46,223百万円（同9.3%増）、受注残高は31,944百万円（同7.2%増）となりました。

収益面につきましては、売上高の増加に加え、売上原価率の改善があり、営業利益は2,037百万円（同80.5%増）となりました。経常利益は、持分法による投資損失371百万円の発生があり、1,752百万円（同13.2%増）を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,028百万円（同14.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[鋳造分野]

欧州市場やインドネシアなどアセアン市場で低調な需要動向が継続しましたが、国内市場においては、増産対応の自動車関連向け鋳造装置をはじめ、幅広い分野での更新需要によって下支えされ、売上高は14,871百万円（同5.7%増）となりました。

営業損益は、欧州市場での採算悪化の影響を受けて、52百万円の損失（前年同四半期452百万円の利益）となりました。

[表面処理分野]

表面処理装置は、自動車部品向けショットピーニング装置や鉄骨向けショットブラスト装置が好調に推移するとともに、投資補助金による更新需要がありました。装置に使用する投射材は、国内市場で装置の稼働率向上などで需要が増加し、分野全体の売上高は、装置、投射材ともに増加して、20,258百万円（前年同四半期比12.0%増）となりました。

営業利益は、装置の大幅な増収効果に加え、投射材が原材料価格の下落とともに、3魅一体の提案で増益となり、2,411百万円（同102.3%増）となりました。

[環境分野]

鋳造業界やセメント業界などへの中・大型の集塵装置及びVOCガス浄化装置が弱含みましたが、工作機械向け小型汎用集塵機とメンテナンス部品が堅調に推移し、売上高は4,765百万円（同2.0%増）となりました。

営業利益は、原価率の上昇により、307百万円（同14.0%減）となりました。

[搬送分野]

北米市場での自動車部品向け搬送装置が増加したことに加え、国内市場での食品関連向けコンベヤ、工作機械向けシザーリフトが堅調に推移し、福祉・医療向け段差解消機の寄与もあり、売上高は3,007百万円（同19.4%増）となりました。

営業利益は、売上が伸長したことにより、188百万円（同698.4%増）となりました。

[特機分野]

液晶パネル向けハンドリングロボットの売上が低迷しましたが、自動車部品生産設備向けサーボシリンダが好調に推移するとともに、自動車部品向け検査装置の寄与があり、当分野の売上高は3,786百万円（同9.7%増）となりました。

営業損益は、原価改善を進めたことにより、30百万円の損失（前年同四半期237百万円の損失）となり、損失額を圧縮いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金や投資有価証券の減少等により、前連結会計年度末に比べ5,326百万円減少し、140,989百万円となりました。

負債合計は、繰延税金負債の減少等により、前連結会計年度末に比べ2,406百万円減少し、48,630百万円となりました。

純資産合計は、その他有価証券評価差額金の減少等により、前連結会計年度末に比べ2,919百万円減少し、92,358百万円となりました。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ4,078百万円増加して、19,235百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及びその要因は、次のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

当第2四半期連結累計期間において、営業活動によって得られた資金は970百万円となりました（前年同四半期は643百万円の収入）。これは、税金等調整前四半期純利益1,768百万円等の資金の増加要因があったことによるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

当第2四半期連結累計期間において、投資活動により支出した資金は4,597百万円となりました（前年同四半期は4,435百万円の支出）。これは、投資有価証券の取得による支出3,607百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

当第2四半期連結累計期間において、財務活動によって得られた資金は980百万円となりました（前年同四半期は222百万円の支出）。これは、自己株式の取得による支出1,500百万円等の資金の減少要因がありましたが、長期借入れによる収入3,091百万円等の増加要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,668	23,994
受取手形及び売掛金	31,065	32,416
有価証券	9,216	6,666
製品	2,895	3,118
仕掛品	4,523	4,535
原材料及び貯蔵品	3,396	3,238
その他	2,656	2,395
貸倒引当金	△288	△269
流動資産合計	80,134	76,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,960	12,550
機械装置及び運搬具(純額)	6,812	6,421
その他(純額)	9,423	9,599
有形固定資産合計	29,196	28,571
無形固定資産		
のれん	920	872
その他	2,846	2,725
無形固定資産合計	3,767	3,598
投資その他の資産		
投資有価証券	30,202	29,528
その他	3,038	3,215
貸倒引当金	△22	△21
投資その他の資産合計	33,218	32,722
固定資産合計	66,181	64,892
資産合計	146,315	140,989

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,754	13,036
1年内償還予定の社債	66	-
短期借入金	1,665	1,746
未払法人税等	976	861
賞与引当金	1,712	1,826
役員賞与引当金	97	45
プラント保証引当金	278	270
受注損失引当金	90	162
その他	11,506	7,940
流動負債合計	30,146	25,889
固定負債		
長期借入金	11,479	14,273
役員退職慰労引当金	312	297
環境安全対策引当金	63	50
退職給付に係る負債	794	804
資産除去債務	114	114
その他	8,126	7,201
固定負債合計	20,890	22,741
負債合計	51,037	48,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,752	5,752
資本剰余金	6,269	6,238
利益剰余金	64,446	64,055
自己株式	△1,309	△1,477
株主資本合計	75,158	74,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,692	8,828
為替換算調整勘定	4,217	3,688
退職給付に係る調整累計額	729	722
繰延ヘッジ損益	△16	-
その他の包括利益累計額合計	15,622	13,239
非支配株主持分	4,496	4,550
純資産合計	95,278	92,358
負債純資産合計	146,315	140,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	42,273	46,223
売上原価	30,075	32,467
売上総利益	12,197	13,756
販売費及び一般管理費	11,069	11,718
営業利益	1,128	2,037
営業外収益		
受取利息	86	84
受取配当金	259	306
為替差益	103	-
持分法による投資利益	82	-
その他	66	170
営業外収益合計	598	561
営業外費用		
支払利息	75	86
為替差損	-	241
持分法による投資損失	-	371
その他	103	146
営業外費用合計	179	846
経常利益	1,547	1,752
特別利益		
固定資産売却益	9	47
負ののれん発生益	86	-
その他	0	0
特別利益合計	95	47
特別損失		
固定資産売却損	3	4
固定資産廃却損	9	9
減損損失	-	13
段階取得に係る差損	17	-
その他	-	4
特別損失合計	30	31
税金等調整前四半期純利益	1,613	1,768
法人税、住民税及び事業税	649	826
法人税等調整額	△94	△202
法人税等合計	555	623
四半期純利益	1,058	1,144
非支配株主に帰属する四半期純利益	157	115
親会社株主に帰属する四半期純利益	900	1,028

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	1,058	1,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,166	△1,865
繰延ヘッジ損益	-	16
為替換算調整勘定	△941	△491
退職給付に係る調整額	22	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	△19	△28
その他の包括利益合計	227	△2,376
四半期包括利益	1,285	△1,231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,195	△1,354
非支配株主に係る四半期包括利益	90	122

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,613	1,768
減価償却費	1,262	1,338
減損損失	-	13
負ののれん発生益	△86	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△51	109
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△44	△51
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△42	72
プラント保証引当金の増減額 (△は減少)	△26	△4
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	72	△18
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2	△13
未払役員退職金の増減額 (△は減少)	△14	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△198	△256
受取利息及び受取配当金	△345	△390
支払利息	75	86
為替差損益 (△は益)	△80	190
持分法による投資損益 (△は益)	△82	371
有形固定資産除売却損益 (△は益)	3	△33
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△0	3
段階取得に係る差損益 (△は益)	17	-
売上債権の増減額 (△は増加)	280	△1,425
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△689	△184
仕入債務の増減額 (△は減少)	△429	△583
その他	△11	565
小計	1,224	1,558
利息及び配当金の受取額	393	447
利息の支払額	△72	△70
法人税等の支払額	△901	△964
営業活動によるキャッシュ・フロー	643	970
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8,327	△10,248
定期預金の払戻による収入	8,101	9,905
有価証券の売却及び償還による収入	-	450
有形固定資産の取得による支出	△1,591	△1,157
有形固定資産の売却による収入	33	91
無形固定資産の取得による支出	△313	△69
投資有価証券の取得による支出	△1,172	△3,607
投資有価証券の売却及び償還による収入	6	23
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,189	-
貸付けによる支出	△20	△3
貸付金の回収による収入	24	6
その他の投資の増減額 (△は増加)	14	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,435	△4,597

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	559	162
長期借入れによる収入	101	3,091
長期借入金の返済による支出	△273	△346
社債の償還による支出	△66	△66
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△94	△89
非支配株主からの払込みによる収入	-	30
自己株式の売却による収入	-	268
自己株式の取得による支出	△0	△1,500
配当金の支払額	△353	△380
非支配株主への配当金の支払額	△95	△109
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー	△222	980
現金及び現金同等物に係る換算差額	△215	△180
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,230	△2,827
現金及び現金同等物の期首残高	19,303	22,063
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	84	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,157	19,235

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	casting 分野	surface treatment 分野	environment 分野	moving 分野	special machine 分野	total 計				
売上高										
外部顧客への 売上高	13,839	18,087	4,461	2,487	3,353	42,230	43	42,273	—	42,273
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	228	0	211	30	97	568	1,204	1,773	△1,773	—
計	14,068	18,087	4,672	2,518	3,451	42,798	1,248	44,046	△1,773	42,273
セグメント利益 又は損失(△)	452	1,191	357	23	△237	1,787	60	1,847	△719	1,128

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設計、情報関連及び福利厚生事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△719百万円には、セグメント間取引消去68百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△787百万円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費及び本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	casting 分野	surface treatment 分野	environment 分野	moving 分野	special machine 分野	total 計				
売上高										
外部顧客への 売上高	14,655	20,258	4,603	2,985	3,656	46,160	63	46,223	—	46,223
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	215	0	161	22	129	528	1,212	1,740	△1,740	—
計	14,871	20,258	4,765	3,007	3,786	46,689	1,275	47,964	△1,740	46,223
セグメント利益 又は損失(△)	△52	2,411	307	188	△30	2,823	117	2,941	△903	2,037

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設計、情報関連及び福利厚生事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△903百万円には、セグメント間取引消去42百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△945百万円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費及び本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

関連情報

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

地域ごとの情報

売上高

日本	中国	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	南アメリカ	合計
25,117	5,041	3,627	3,181	3,129	2,177	42,273

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基本とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア……………アセアン諸国・台湾・韓国
- (2) 北アメリカ……………アメリカ・メキシコ
- (3) ヨーロッパ……………ドイツ・スウェーデン
- (4) 南アメリカ……………ブラジル

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

地域ごとの情報

売上高

日本	中国	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	南アメリカ	合計
26,708	4,311	5,805	4,627	3,009	1,760	46,223

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基本とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア……………アセアン諸国・韓国・台湾
- (2) 北アメリカ……………アメリカ・メキシコ
- (3) ヨーロッパ……………ドイツ・トルコ
- (4) 南アメリカ……………ブラジル